

枚数表示
1/3

受験番号	
------	--

問1 次の語句群の中から五つを選択し、説明を加えよ。(一五点)

- ①孫子 ②焙烙火矢 ③天正伊賀の乱 ④九字護身法  
⑤陸軍中野学校 ⑥軒猿 ⑦忍者刀 ⑧カムイ外伝  
⑨柳生武芸帳 ⑩伊賀流忍者博物館

問2 忍者はなぜ世界中で人気があると思われるか。その理由について述べよ。(一五点)

問3 別紙資料A・Bについての史料問題a・bのうち、どちらか一題を選択し、答えよ。(二〇点)

a この史料は徳川幕府の伊賀者に関するものである(松下家文書)。

(1) それぞれの史料の大意を記せ。

(2) それぞれの史料に関連する事柄について知ることを記せ。

b 資料Bは『聚楽物語』巻上「木村常陸御謀叛すすめ奉る事」の一部である。本文は、秀頼の誕生後、秀吉に疎まれるようになったと不安になっている関白豊臣秀次に対し、家臣の木村常陸介が謀叛を勧めたが、成功は難しいと言われたところからはじまる。読んで次の問いに答えなさい。

宮内庁書陵部蔵寛永一七年版本を翻刻した『仮名草子集成』第三九巻の『聚楽物語』を底本とし、引用にあたって原文の読点を句読点に、踊り字は元の字に、一部のひらがなを漢字に適宜置き換えた。

(1) 傍線部①「三日の御いとまをくだされ候へ」と言った木村常陸介はどのようなことを秀次に提案したのか、現代語で詳しく説明しなさい。

(2) 傍線部②「秀次はただおぼつかなし。『よしよし』と仰けれども」は秀次の暗愚さを示す返答である。なぜ、秀次が暗愚といえるか、その理由を説明しなさい。

(3) 傍線部③「それより所労とて出仕をやめ、いそぎ罷まかりくだり下ける」以降の木村常陸介の実際の行動と体験したことを、現代語で詳しく説明しなさい。

(4) この話は近世後期に木村常陸介に代わって別の忍者が任務を果たす話に作り替えられた。その作品名と忍者の名前をそれぞれ答えなさい。

令和四年度三重大学大学院人文社会科学研究所(修士課程)

入学試験問題

試験科目〔専門科目〕科目名

忍者・忍術学

枚数表示
2/3

受験番号	
------	--

A

著作権の関係上、開示しない。

令和四年度三重大学大学院人文社会科学研究所(修士課程)

入学試験問題

試験科目「専門科目」科目名

忍者・忍術学

枚数表示
$\frac{3}{3}$

受験番号	
------	--

B

著作権の関係上、開示しない。